

わだち (校長室だより)

柏原市立堅下北中学校

令和8年度 第1号

令和8年4月15日

「わだち(轍)」とは、車や自転車・バイクの車輪が通ったあとに、地面にできる筋状の跡のことです。私自身が、学生時代に自転車で日本全国を旅していたこともあり、自分にとっては身近な言葉です。

例えたいのは、いま中学生として毎日がんばっているみなさんが「自転車」とおってきた道(経験してきたこと・過去)が後ろにできる「わだち」。そして、進む道(未来)にも、「わだち」ができていきます。北中でなかまとともにたくさんの経験をしたり失敗を乗り越えて、一人ひとりに未来につながるすてきな「わだち」ができるように願いを込めて校長室だよりのタイトルにしました。



【ごあいさつ】

令和8年4月に着任しました岡本 泰典と申します。

堅下北中学校は私自身が教員になった最初の年に赴任した学校であり、平成16、17年にも勤務させていただいた思い出深い学校です。ここに戻ることに不思議な縁を感じつつ、嬉しく思っています。当時を思い浮かべながら、今在籍する生徒のみなさんと一緒に学びを深めていきたいと思えます。

個人としては平成28年に資格を取得した「防災士」として居住地である「NPO 法人奈良県防災士会」に所属して主に休日に活動しています。そこで得た知識や経験を、災害大国日本において命を守るために必要な防災情報なども生徒のみなさんや保護者のみなさんにお伝えしていきたいと思えます。

世界の各地で紛争が起こると、遠い世界での出来事が私たちの生活にもすぐに影響が出てくる社会であり、時代でもあります。子どもたちが、混沌として未来が見通せない社会に出ていくときに大切なのは、『自ら考え・判断できる力』を身につけていくことです。

それらの力を3年間で身につけられるよう、また、本校の学校教育目標である

「友愛」「自立」「創造」

の実現に向けて、保護者・地域の皆様のお力もお借りしながら教職員一丸となって学校運営を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【入学式 4/7(火)】

新たに103名の1年生を迎える入学式が行われました。新しい制服姿に緊張感がある姿が初々しい感じでした。式辞で伝えたことを要約して記します。

中学校の三年間は、長い人生の中でも、心身ともに大きく成長する大切な時期です。また、小学校の頃よりも大人に近づき、中学生としてふさわしい態度や行動が求められるようになります。そこで、皆さんがこれからの三年間を充実したものにするために、心がけてほしいことを三つお伝えします。

一つ目は、「高い目標を持ち、挑戦し続けること」です。

『人にできて、きみだけにできないことなんてあるもんか』

これは、ドラえもん の言葉です。

皆さんの中には、まだ自分でも気づいていない可能性が秘められています。何もせずにあきらめてしまったり、その力を発揮することはできません。失敗を恐れず、高い目標を掲げ、新しいことに積極的に挑戦してください。きっと新しい自分に出会えるはずですよ。先生たちも全力で応援します。

二つ目は、「自分を鍛えること」です。

中学校では、「教えてもらう」学びから「自ら学ぶ」姿勢へと変わることが求められます。授業でも家庭学習でも部活動でも、与えられるのを待っているだけでは成長できません。難しくても、つらくても、やるべきことから目を背けず、自分を律して取り組んでください。

困難に出会ったときは、自分を鍛え、成長するチャンスだと前向きにとらえましょう。その積み重ねが、やがて学ぶ喜びへとつながっていきます。

三つ目は、「周囲の人を大切にすること」です。

すべての人には、誰からも侵されることのない大切な権利、すなわち「人権」があります。集団生活の中では、悪気がなくても結果として人を傷つけてしまうことがあります。そのときは、素直に心を込めて謝ることが大切です。そして、それを受け入れる寛容な心も持ってください。

一方で、悪意をもって人を傷つける行為は、決して許されるものではありません。いじめはその代表例です。それは他人を傷つけるだけでなく、自分自身の価値をも損なう行為です。何より、互いに高め合える仲間との関係を失うことにつながります。

以上、「高い目標に挑戦すること」「自分を鍛えること」「周囲の人を大切にすること」の三つを、ぜひ心に留めてください。

今日から皆さんは中学生です。

本校では、堅下小学校・堅下北小学校からの仲間が一つになります。これまでの関係も大切にしながら、この節目を機に新たな一歩を踏み出し、「互いに尊重し合い、励まし合い、高め合える」関係を築いてください。

2年生、3年生にも心がけてほしい3つです。

まずは令和8年度の1年間、よろしくお願いいたします！

